

おはなし会のご案内



千葉市図書館では、絵本の読み聞かせや昔話の語りを行うおはなし会や読書まつりなど、いろいろなイベントを行っています。ぜひおこしください。絵本のほか、紙芝居や大型絵本の貸出もしています。ぜひご利用ください。

新入学児童を
お持ちのご家庭へ

我が家の ファミリーブックタイム

図書館名	連絡先(043)	おはなし会など
中央図書館	287-3980	毎週土曜日 10:30(3歳児～)、14:30(小学生) わらべうたと絵本の会 第2金曜日 10:00(1歳児と保護者)、10:45(2歳児と保護者)
みずほハスの花 図書館	275-6330	わらべうたと絵本の会 第1水曜日 11:00、11:30(0～2歳児と保護者) 第3土曜日 11:00(3～6歳児)、15:00(小学生)
みやこ図書館	233-8333	毎週火曜日 15:30(3～5歳児)、16:00(年長児・小学生) わらべうたと絵本の会 第3火曜日 11:00(0～3歳児と保護者)
白旗分館	264-8566	第3水曜日 15:30(3歳児～小学生)
花見川図書館	250-2851	わらべうたと絵本の会 第2・4金曜日 11:00(0～3歳児と保護者) 毎週金曜日 16:00(4歳児～小学生)
花見川団地分館	250-5111	第4水曜日 15:30(3歳児～小学生)
稲毛図書館	254-1845	毎週金曜日 15:15(3～4歳児)、16:00(5歳児～小学生) はじめてのおはなし会 4、6、7、9、11、12、1、2、3月の第1木曜日 10:00(0～2歳児と保護者)
若葉図書館	237-9361	毎週金曜日 15:30(3歳児～小学生) わらべうたの会 第2水曜日 10:15(0～3歳児と保護者)
西都賀分館	254-8681	第4土曜日 11:00(3歳児～小学生)
泉分館	228-2982	第2土曜日 11:00(3歳児～小学生)
緑図書館	293-5080	えほんのじかん 毎週金曜日 11:00(2・3歳児と保護者) 毎週金曜日 16:00(4歳児～小学生)
あすみが丘分館	295-0200	第2水曜日 11:00(0～3歳児と保護者)、15:45(4歳児～小学生)
美浜図書館	277-3003	毎週金曜日 15:30(3・4歳児)、16:00(5歳児～小学生)
打瀬分館	272-4646	第4木曜日 11:00(0～3歳児と保護者)、15:30(3歳児～小学生)

お子さんと本を介して、 触れ合う時間を持ってみませんか？

読書は、いわば“心の栄養”

子どもが感性を磨き、表現力や創造力を培い、生きる力を身につける上で欠くことのできないものが読書です。

本の世界に入り込んでいく「耳からの読書」

子どもが小学校に入学すると、「小学生になって字も読めるようになったのだから、本は自分で読みなさい。」とってしまいがちです。しかし、“字が読める”ようになったといっても、それは文字を読んでいるだけで、“読書”とはいえません。

それに対して、読み聞かせや素話などの「耳からの読書」は、耳で聞いたおはなしを自分の頭の中でイメージし、本の世界に入り込んでいくことができます。この積み重ねが“読書”につながるのです。

大人が子どもと共に読書に親しむ

読書習慣を形成するには、いつも身近にいる大人が読書の重要性を認識して、大人が子どもと共に読書を楽しもうとする姿勢や雰囲気をつくるのが大切です。一緒に図書館や地域の文庫等へ出かけたり、読書したりして、積極的に読書に親しむ機会を増やしてみましょう。

ファミリーブックタイム運動とは？

「家族で本に親しむ時間をつくろう」と
呼びかける運動です。

千葉市では、
「千葉市子ども読書活動推進計画」の事業として、
ファミリーブックタイム運動を推進しています。



図書館の場所は、下記ホームページをご確認ください。

千葉市図書館ホームページ <https://www.library.city.chiba.jp/>



千葉市中央図書館Facebookページ
<https://www.facebook.com/Chiba.City.Central.Library>



千葉市図書館Xページ <https://x.com/ChibaLibrary>



発行 令和7年3月

千葉市教育委員会 生涯学習部 中央図書館
〒260-0045 千葉市中央区弁天3丁目7番7号
TEL:043-287-3980 FAX:043-287-4074
URL:<https://www.library.city.chiba.jp/>

「青少年の日」「家庭・地域の日」は、家庭や地域の
ふれあいを大切に。

青少年の日：毎年9月第3土曜日
家庭・地域の日：毎月第3土・日曜日

シンボルマーク ▶



我が家の

ファミリーブックタイム実践例

読書は心を豊かにしてくれる

私は、子どもの頃から、本が大好きで、両親も、おもちゃは買ってくれなくても、本は、たくさん買ってくれました。小学生の時、いつも必ず、何か借りてきて、読んでいた様に思います。

我が家の子ども達も、小さい時から、絵本を読んで聞かせたりしていたからか、2人とも、本が好きの様です…。 “これママが子どもの頃、読んでおもしろかったヨ…” というと、学校から借りてきたりして、読んでいます。最近、中学生の娘はいわゆる “ベストセラー本” に目覚めたようで、親子で一緒に楽しむこともあります。

読書は、心を豊にしてくれると思うので、これからも、たくさんの本と出会っていきたいと思います。



同じ本を読んで感想を話し合う

心が豊かな子に育ってほしいと願い、娘が幼いころから読み聞かせをしてきました。そんな娘も小学2年生。自分で読みたい本を見つけ、読める年齢となりました。しかし、読み聞かせが大好きです。お気に入りの本を「読んで！」と言って持ってきます。反対に私が読み聞かせをしてもらうこともあります。声を出して読みたい本や聞きたい本を選んでいきます。長いお話は、じっくり読みたいのでしょう、一人で静かに読んでいます。親子3人が別々の本を楽しんでいることもあります。

この頃は、同じ本を読んで感想を話し合うようにして、読書をたのしんでいます。

同じ感動、楽しさを共有

自分が子どもの頃読んだ本を子ども達（小5、小3）が、今楽しんでいます。それはとても嬉しい事です。子どもの頃の私と私の子どもが、同じ感動、楽しさを共有できるのです。本の持つすばらしさのひとつです。

又、子ども達の成長とともに、同じ本と一緒に読み始めたり、自分なら選ばなかったであろう本を子どもから借りて読んでみたりと、読書の楽しみが広がっています。皆と一緒に読書をしている、静かな時間が、これから大切になっていきそうです。



市民の皆様から、“我が家のファミリーブックタイム” と題し、家族ぐるみの読書の取組を募集しました。ここでは、お寄せいただいた事例の中から、いくつかを実践例として、ご紹介させていただきます。

※実践例は、原則として、ご応募いただいた原文をそのまま掲載しております。

ブックリスト ~よんでみよう1・2年生~



わにのはいた

文・絵/マーガリット・ドリアン
訳/光吉夏弥
出版社/大日本図書
出版年/1983年
内容紹介/ワニのアリは、はいたで歯医者に行くのに間違ったバスに乗りました。隣の席の男の子は歯医者さんの子どもでした。



やかましむらのこどもの日

作/リンドグリーン
絵/ヴィークランド
訳/やまのうちきよこ
出版社/偕成社 出版年/1983年
内容紹介/やかましむらに住む6人のこどもたちは、「こどもの日」をつくり、楽しい遊びを考えました。



あおい目のこねこ

(世界傑作童話シリーズ)
作・絵/エゴン・マチーセン
訳/せたていじ
出版社/福音館書店 出版年/1965年
内容紹介/はらべこのあおい目のこねこは、ごちそうにありつこうと、ねずみのくにをさがしにでかけました。



ぼくはめいたんていきえた犬のえ

文/マージョリー・W・シャーマット
絵/マーク・シーモント
訳/光吉夏弥
出版社/大日本図書 出版年/1982年
内容紹介/ネートは9歳の男の子。パンケーキと探偵ごっこが大好き。次々に起こる事件を見事な謎解きで解決します。



エルマーのぼうけん

作/ルース・スタイルス・ガネット
絵/ルース・クリスマン・ガネット
訳/わたなべしげお
出版社/福音館書店 出版年/1963年
内容紹介/エルマーは、どうぶつ島にとらえられているりゅうの子を救うため、旅にでかけます。



ふたりはともだち

作/アーノルド・ローベル
訳/三木卓
出版社/文化出版局
出版年/1978年
内容紹介/少し気の弱いがまくんと、しっかり者のかえるくんの友情物語です。



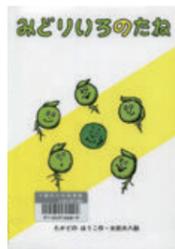
はじめてのキャンプ

(福音館創作童話シリーズ)
作・絵/林明子
出版社/福音館書店 出版年/1984年
内容紹介/なほちゃんは、大きい子たちと一緒にキャンプに行きたいといいました。大きい子たちに負けないように一生懸命がんばります。



たんたのたんけん

(新しい日本の幼年童話)
作/中川李枝子
画/山脇百合子
出版社/学研プラス 出版年/1971年
内容紹介/誕生日に届いた地図を持って、たんたは探検に出発しました。すると、ひょうの子がついてくるではありませんか。



みどりいろのたね

作/たかどのほうこ
絵/太田大八
出版社/福音館書店 出版年/1988年
内容紹介/みんなで畑にまいたえんどう豆のたね。ところがまあちゃんは、緑色のあめ玉までうめてしまいました。芽はでるのかな？



番ねずみのヤカちゃん

作/リチャード・ウィルバー
絵/大社玲子
訳/松岡享子
出版社/福音館書店 出版年/1992年
内容紹介/「やかましやのヤカちゃん」と呼ばれている大声のねずみヤカちゃんが、大活躍するおはなしです。



どれみふあけろけろ

文・絵/東 君平
出版社/あかね書房
出版年/1981年
内容紹介/泳げないたっくんは、泳ぎが上手なカエルを見て「ぼくもカエルになりたいなあ」と呟くと、カエル学校の生徒になっていました。

楽しい本との出会いは、大人になっても読書に親しむきっかけをつくります。

千葉市図書館では、図書館員が作成したおすすめブックリスト「よんでみよう」(学年別)を図書館ホームページに掲載しています。

※掲載している絵本は、千葉市図書館で借りられます。